

# スポーツの魅力でふくいをもっとおもしろく!



県は、県内を代表する5つのトップスポーツチームを「ふくい県民応援チーム」に委嘱。プレーで県民を元気づけるとともに、本県の魅力を積極的に県外に発信することが期待されています。令和3年の新春を迎え、杉本知事とふくい県民応援チームで活躍するお二人が、スポーツの振興を通じた地域活性化について語り合いました。

ワクワクドキドキできる福井県

「ふくい県民応援チームについて教えてください。」

知事 福井県では、昨年7月、2040年までを見通した福井県長期ビジョンをつくりました。「ふくい

をもっとおもしろく」をコンセプトに掲げています。

ワクワクドキドキできる福井県を指して、県内で活躍しているスポーツのトップチーム5つを「ふくい県民応援チーム」に委嘱しました。野球の福井ワイルドドラプターズ、女子フットサルの福井丸岡RUCK、サッカーの福井ユナイテッドFC、ハンドボールの北陸電力パルサーズ、ホッケーの福井クラブです。この5つのチームは全国のトップリーグなどで活躍しており、みんなで応援することで、全国に向けた福井県の魅力発信や地域の活性化につなげていこう。そういう思いを込めています。

## チームとの出会い

「お二人のチームとの出会いを教えてください。」

池内 姉が福井丸岡RUCKに所属していたので、送り迎えや試合の応援などを通じて、自然にチームに親しむようになりました。そして、友達との誘いを受けて、正式に福井丸岡RUCKに加入しました。福井丸岡RUCKの選手は、全員が福井県出身であり、みんな県内で活躍しています。今季は、全日本女子フットサル選手権に出場。全国の舞台で戦いました。

小松原 私は福井ワイルドドラプターズの前身球団が所属していたルートインBCリーグで事務局長を務めていました。

2019年にその球団が解散を決定。長年にわたって福井県に根付きつつあったチームがなくなってしまうのは避けなければいけないと思い、存続活動をリードして支援者を募り、福井ワイルドドラプターズとして再出発しました。私自身も



福井丸岡RUCK キャプテン 池内 天紀 さん



福井ワイルドドラプターズ 球団社長 小松原 鉄平 さん

県内に移住し、福井県民となつて、昨年から活動をスタートしました。昨年は多くの応援を受け、さらに指導者や選手が頑張ったことで、球団設立1年目にしてルートインBCリーグの西地区で優勝しました。そしてリーグ新記録となる22連勝を果たしました。

「ふくい県民応援チーム」には、力強いプレーだけでなく、県民に愛されるチームになることが期待されています。

## ふくい県民応援チームの活動

池内 地元の小学生たちにフットサルを知ってもらうために、フットサル体験会を行っています。また、地元のお祭りでは、お手伝いやPR活動をさせてもらっています。さらに、YouTubeでは、選手たちが地元を観光する動画を投稿し、福井県を県外に発信しています。



西地区優勝を決めた選手たち

知事 福井ワイルドドラプターズが西地区優勝を決めた試合には私も応援に行き、始球式の投手を務めました。試合を見て感じたのは、まさに「プロ」だなということです。本当に素晴らしい試合でした。

福井丸岡RUCKは、これまでに全日本女子フットサル選手権での

優勝やイタリアのセリエA所属のチームと試合をするなど活躍されていますね。

写真をトリミングして、実際にその観光名所に行ったかのような投稿をする取り組みです。

## 県民との交流促進

「「ふくい県民応援チーム」の活動を県民の皆さんにもっと広く知ってもらいたいですね。」

知事 昨年は地元のテレビ局の番組で毎週月曜日の夕方に試合結果や試合告知を放送しました。また、いくつかの試合を観戦すると、抽選で若狭牛やチームのグッズが当たるスタンプラリーを開催しました。結果として、ふくい県民応援チームの試合では観客数が増えるなど、その助となったのではないかと考えています。

また、今年3月には、「ふくい県民応援チームふれあいフェス」を福井市のハピテラスで開催します。イベントでは、ふくい県民応援チーム全体の愛称を発表する予定です。

スポーツに期待される役割  
「スポーツの振興がこれからの地域活性化の二つのカギとなってきます。」

小松原 ふくい県民応援チームとして、福井ワイルドドラプターズは地域貢献を最大の目的に活動しています。私たちが掲げる目標は大きく2つ。「エンターテインメントの創出」と「スポーツマンシップの普及を通じた人材育成」です。

地元に力強いスポーツチームがあれば、人が集まり、新たなコミュニティや会話が生まれます。例えば大学進学で県外に行った学生が、大学を卒業後、応援したいチームがあるから地元に戻ってくるということがあると考えています。

また、スポーツマンシップとは、対戦相手やチームメイト、審判、ルールを尊重しながらグッドゲームを目指すことです。スポーツマンシップを理解し、他者を尊重できる人が増えることで、安心感のある地域につながっていくと考えています。

知事 今やスポーツには競技としてだけでなく、幅広い役割が期待されています。昨年8月に開催されたアスリート・ナイトゲームズ・インラクイでは、選手と観客が一体となりスポーツを楽しみました。スポーツを応援する文化、そしてスポーツを頑張る皆さんが活躍できる環境をつくっていくことがとても大切だと思っています。

## スポーツで福井に活力を!

スポーツを通じて県民が二つになつていくことが期待されています。最後に皆さんの抱負を聞かせてください。

池内 チームの目標は、日本女子フットサルリーグで優勝すること。そして、個人の目標としては、日本代表として世界で活躍できる選手になることです。

現在、私は福井県立大学で経営学を学んでいます。地元で開催される大会では、大学で学んだこと



日本女子フットサルリーグ 試合の様子

を活かして、魅力的な試合をつくっていくとともに、将来的にはチームの運営にも携わっていきたくと思っています。

小松原 一番意識している数字は試合の観客数です。試合をすれば多くの人が来てにぎわう状況をつくっていきたくと思っています。

昨年はリーグチャンピオンシップの準決勝で敗退してしまったので、今年はリーグ制覇を目指します。選手個々の目標であるNPB(日本野球機構)への輩出も増やしていきたいと思っています。

また、福井ワイルドドラプターズは配送業を始めました。野球の力で県外から若者を福井県に呼び込むことで、福井県の人手不足を解決し、地域に貢献していきます。

「頼もしい言葉を聞くことができました。最後に知事の抱負をお願いします。」

知事 昨年3月に「福井県スポーツまちづくり推進機構」を設立しました。市町や競技団体、経済団体、大学など県内の約80団体が二丸となり、スポーツ大会・イベントの誘致やスポーツチームの応援などを行っています。今後は、引退後の選手のセカンドキャリア形成も併せて支援していきたいと考えています。